



佳作（愛媛信用金庫賞）

街

二宮 光彦

紙 マーカー 鉛筆

作品について
細かな絵を根気よく描く作者です。今回2枚描いたうちの1枚です。本人の「まち（街）」のイメージをご覧ください。

講評

目を凝らして見ると、家やビル、そして樹木などが高密度で描かれていることに気づきます。「街」を描いた絵画のようですが、本作が面白いのは、多様な色彩が混ざり合った結果、画面の中には新たに抽象的なオブジェなどが出現し、ダブルイメージのような不思議な画面構成を生み出している点にあります。皆さんは、この絵画の中に何を見つけることができるでしょうか。小さな作品ですが、いつまでも眺めていたくなる魅力ある作品です。
(櫛野展正)